

おかざき彩子さんの決意

(3/9 社民党と新社会党の共同記者会見で)

■ロスジェネは社会の責任だ

「私は1980年生まれ。超就職氷河期真ただ中の『ロスジェネ世代』。就活の入り口から締め出され、生きるためにワーキングプアで失業と向き合い続けてきた。「親たちの中には自分の子どもが『まともな就職先』に就けないことを恥とする空気もある中で自分を肯定できず、今も苦しさを経験している人が多い」と述べた。

その上で、「私たち世代が抱えている問題は、個人の責任ではなく社会が作り出した制度にある。特に労働者の4割を超える非正規労働者は、労働者派遣法が改悪を重ねた結果であり、低賃金や失業の不安と常に向き合う生活から抜け出せない仕組みや扱いは間違っている」と指摘した。

「女性、42歳、独身の私でも、1人でこの社会で安心して生きていけるように、制度を改善させたい」と力強く表明した。

*「ロスジェネ」とは、「超就職氷河期世代」「格差世代」と言われます。



社民党と新社会党の共同記者会見で「決意」を述べる、おかざき彩子さん
(3月9日参院議員会館)



おかざき彩子ホームページ

今夏の参院選に新社会党全国青年女性委員会代表のおかざき彩子さんが社民党比例代表選挙名簿に搭載されることになりました。

女・シングル それでも生きていける社会

おかざき彩子・みずま雪絵

国政・区政を語る夕べ

日時 5月12日(木)
18時30分～20時
会場 亀有地区センターホール
葛飾区亀有3-26-1 リリオ館7階

週刊

新社会

東京

号外

振替00140-0-149727 1ヵ月700円 168円 1部175円 42円

発行所:新社会党 <http://www.sinsyakai.or.jp/>
E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F TEL.03-6380-9960 FAX.03-6380-9963

みんなが幸せに生きていく社会をめざします。

さいこ おかざき彩子が言いたい放題

私たちを取り巻く「気候危機とコロナ禍」「貧困と戦争」。いずれも、現代社会の産物。「気候危機」の要因は地球温暖化。大量生産大量消費の社会が発生させたCO2が原因。また、「コロナ禍」は森林伐採など自然破壊の開発、動物と人類との接触を高め、動物社会の感染症がグローバル社会の進展で一気に世界的なパンデミックに。そして、「貧困と戦争」は、富者の論理と儲け至上主義の社会が生み出したもの。その根は同じです。

循環で成り立つ地球環境が資本の開発至上主義で壊れはじめ、地球自らがその浄化作用を私たちに課しているとも言えます。儲け至上主義、大量生産、大量消費、開発至上主義を改め、人権が大切にされ、持続可能な循環型社会が、いま求められています。それは、「新しい資本主義」でなく、「競争でなく共同」「私有・独占でなく共有・分与」そして、「意思決定への市民参加が保障された」新しい価値観の社会です。その社会の具体像を描きます。

社民、新社会から参院選擁立

政党要件存続へ連携
社民党と新社会党は9日、夏の参院選の比例区に新顔で新社会党兵庫本部書記次長の岡崎彩子氏(42)を擁立し、社民の比例名簿に載せると発表した。社民は参院選の結果次第で公職選挙法上の政党要件を失う可能性があるため、護憲などの政策が共通する勢力との連携を進め、支持層を広げる狙いがある。社民と新社会はともに旧社会党が源流だが、新社会は1990年代に社会党の政策転換に反発した勢力が結党した経緯がある。新社会によると、現在、党員は約3千人、地方議員は約100人いるという。
社民の福島瑞穂党首と新社会の岡崎宏美委員長は9日、国会内で一緒に記者会見した。福島氏は「護憲や脱原発などを掲げる」政治勢力の塊がもうとたくさんの人に支持されることを期待している」と強調した。当選した場合は国会で同じ会派に所属する見込みだ。

社民党と新社会党が手をつなぐ!
参院選が今年夏あります。新社会党は、生活平和・憲法の危機の中で、国際紛争の武力解決に反対し、誰も幸せを保障する社会を目指して闘う決意を固めました。
おかざき彩子さんを先頭に頑張ります。

●ジェンダー平等を

- 選択的夫婦別姓を実現します。
- 男女賃金格差をなくします。
- 税や社会保障制度を家族単位から個人単位にむけて取り組みます。
- DV、性暴力、ハラスメントは暴力であり犯罪です。明確に禁止し、被害者を支える制度が必要です。
- 女性差別撤廃条約選択議定書を批准させよう。

●平和の安全保障を

- 憲法9憲法こそ世界の安全保障です。
- 核兵器禁止条約に一日も早い署名を。
- 辺野古新基地はじめ九州・沖縄南西諸島への自衛隊基地建設、ミサイル防衛計画に反対。

●脱原発で持続可能な地球環境を

- 環境の基礎となる農林漁業活性化に取り組みます。
- 脱素社会にむけてエネルギー政策を進めます。
- 原発ゼロ基本法の制定を求めます。
- 原発事故被害者救済法の制定をめざします。



●誰もが安心して働き生きられる制度を

- 公的医療の強化と保険行政の拡充で生命の安全保障を
- これ以上非正規雇用を作らないよう、労働法制を抜本的に見なおすこと。
- 非正規雇用から正規雇用への転換を進め、労働条件改善、均等待遇を求めます。
- 最低賃金は一律時給1,500円に引き上げを。

●消費税をなくし安心して暮らして

- 消費税の廃止をめざそう。
- コロナ禍でも莫大な利益を上げる大企業の内部留保に臨時課税をすること。
- 大幅に減税されてきた大企業・富裕層の所得税率などを減税前の率に復元、累進化することを求めます。

みんなの声が活かされ選挙制度に

- 小選挙区制度を廃止し、完全比例制度を目指します。
- 世界一高い供託金を見直し、選挙を身近なものにします。
- 女性議員を増やし、議会の男女平等をめざします。